

第8回
遊びと表現発表会
九州大谷幼児教育・児童福祉学会

2018.12.15(土)

13:00開演(12:30開場)

17:00終演予定

於 九州大谷短期大学 大谷講堂

(筑後市蔵数495-1)

主催 九州大谷幼児教育・児童福祉学会

プログラム

●オープニング／トーンチャイム演奏・手遊び（Lクラス1年）

1

身体表現（下見保育所 4歳児）

「きりん組 からだ科学館へようこそ」

（13：05頃）

●幕間／手遊び（Fクラス1年）

2

ボディパーカッション（九州大谷幼稚園 年中児）

「みんなで楽しくリズム！」

（13：15頃）

●幕間／ブームワッカー演奏・手遊び（Mクラス1年）

3

造形遊び（Gクラス）

「つくってあそぼう～にじいろのしまうま～」 （13：35頃）

＊ 休憩（10分間）＊

●幕間／手遊び・歌（Hクラス1年）

4

劇（Iクラス）

「くろくんなぞのおばけ」

（14：15頃）

●幕間／手遊び・歌（Gクラス1年a）

5

運動遊び・身体表現（Fクラス）

「Over The Rainbow」

（14：45頃）

●幕間／手遊び（Iクラス1年a）

6

シルエット劇・ショートストーリー（Lクラス）

「わたしは5歳」

（15：05頃）

＊ 休憩（10分間）＊

●幕間／ボディパーカッション（Fクラス1年）

7

ペープサートと音楽（Hクラス）

「3びきのやぎのがらがらどん」

（15：40頃）

●幕間／手遊び（Iクラス1年b）

8

劇（クラスM）

「☆The place where we can shine☆」

（16：05頃）

●幕間／手遊び・トーンチャイム演奏（Gクラス1年b）

9

車いすダンス・手話（STクラス）

「みんなの輝き繋げていこう～人生無限大～」 （16：35頃）

講評

吉柳佳代子（幼児教育学科講師）

挨拶

森永牧子（幼児教育学科学科長）

第8回「遊びと表現発表会」によせて

平成23年より始めました「遊びと表現発表会」も今回で第8回を数えます。

本日皆さまにお集まりいただき、学びの集大成として「遊びと表現発表会」が開催できますことを幼児教育学科・専攻科福祉専攻の学生ともども、大変喜ばしく感じております

幼児教育学科・専攻科福祉専攻では、開学50周年に向けて、「共に育ちあう人へ～遊びと表現が育てる保育と介護の力～」の実現のために、豊かな遊びや自由な表現を保育・教育の専門性の具体と捉え、子どもの可能性を引き出せる実践力と、いのちに寄り添い支えることのできる人間力を持った保育者・援助者養成を目指し教育を進めております。

「遊びと表現発表会」は、幼児教育学科・専攻科福祉専攻が目指す教育を具現化したものであると言えます。それは「本学の願い」である「人生の主体者となる・共に歴史と世界を生きる・問いを学ぶ」ことが、遊びと表現活動において学生・教員が共に実践できる場であるからです。

さらに、保育は子ども達が様々な生きる力を獲得するのを援助することであり、介護は介護を必要とする人たちが生きる力の再獲得、あるいは維持を援助する事であると考えます。そのいずれにおいても、子ども達あるいは利用者の皆さんが「遊びや表現を主体的に行う者」となることによって可能になるのです。それらの援助をするための意志と実践力を確かなものにするのがこの発表会に向けてのとりくみです。

くわえて、表現力は同時に鑑賞力でもあります。学生は今回のとりくみ・遊びや表現の体験を通して、幼い子どもたちや援助を必要とする方々の、遊びや表現の良き理解者・よき受け手となることも期待されています。

今回は、九州大谷幼稚園と下見保育所（筑紫野市）からの発表会参加のご協力を得ることができました。九州大谷幼稚園、下見保育所の園児の皆さん、先生方、保護者の皆様方に感謝しております。今後も発表会の発展と学生の学びを確かなものにするために、地域の現場との連携を深めてまいりたいと思います。

幼児教育学科の6つのクラスと専攻科福祉専攻の特色ある発表と、幕間では、1年生が授業での学びも披露いたします。ご来場の皆さま方には、学生と教員の「共に生きようとする姿」をあたたく見守り、共に各クラスの成果を楽しみ、今日までの取り組みに思いを馳せていただけたらと存じます。

2018年12月15日

九州大谷短期大学 幼児教育学科
学科長 森永 牧子

「きりん組 からだ科学館へようこそ」

下見保育所 4 歳児

《ねらい》

- ・ 友だちと協力して表現することを楽しむ
- ・ 福岡市科学館で学んだ事、絵本や図鑑で調べたことを身体を使って表現する

6月の園外保育で福岡市科学館に行きました。聴診器で自分の心臓の音を聴いたり、血液の流れる様子や筋肉の動きなどを見たりする事ができました。

それから身体の仕組みに興味津々になった子どもたち！「骨がいっぱいあるとよ」「食べたものはどうなるのかな？」と絵本や図鑑を見ながらたくさんのことを発見し、表現することを楽しんでいました。

今日は、みなさんを『きりん組 からだ科学館』へご案内します！！からだの不思議をお楽しみください！

～発表を見るポイント～

見ている人を意識して自分で工夫している様子や体験したこと、想像したことを自分の身体で伝えるところ。

身体表現は面白い

身体表現は自分で観たもの、感じた事を身体で表現します。感じ方は一人ひとり違うので、表現もいろいろです。どの動きも間違いではなく、自分らしさを発表します。

体験したり調べたりすることで、観察力・想像力を培い、友だちと作りあげることで協調性が育ち身体全身を動かすことで、運動能力も身についていきます。

「みんなで楽しくリズム！」

九州大谷幼稚園 年中児

《ねらい》

- ・リズムに合わせて身体を使って表現することを楽しむ
- ・友だちと聴き合いながら、ユニゾンリズムやリズムアンサンブルの楽しさを味わう。

九州大谷幼稚園年中クラスは、今年度ボディパーカッション教育の考案者である山田俊之先生にご指導いただき、ボディパーカッションの活動に取り組んできました。色々なリズム遊びや動きの経験を通して活動を思いっきり楽しめるようになってきました。中でもみなさんリズムでは、人前に出て行う場面があり、普段は前に出ることが恥ずかしくて出ることが出来なかった子ども達が、リズム遊びを通して自信がつき、人の前に出ても楽しみながら発表できるようになりました。

今回は、沢山の人の前での発表で、ちょっぴり緊張しているかもしれませんが、子ども達が楽しんできたボディパーカッションを会場の皆さんとも一緒に楽しみたいと思っています。子ども達と一緒にボディパーカッションに参加して、お楽しみください！

それでは、やまちゃんの、楽しいリズムあそび 始まるよ！

ボディパーカッション教育について

ボディパーカッションには、子どもたちが遊びとして主体的に取り組める楽しさがあります。「みなさんリズム」のようなリズムに乗って身体的活動や発声をする事を通して、子どもたちは精神的にも開放され、心身の調和が図られます。

幼児期にボディパーカッションを体験する事により、単にリズム感や拍子感が養われるばかりでなく、運動感覚や身体技法としての表現力を培っていくことが出来ると考えています。

「つくってあそぼう ～にじいろのシマウマ～」

九州大谷短期大学幼児教育学科 Gクラス

【ご挨拶】

こんにちは。Gクラスの発表は、「つくって遊ぼう～にじいろのシマウマ～」です。Gクラスは、造形を専門にしている恒賀先生が担任のクラスです。そんなクラスですから、モノづくりが得意な私たちかと思われるかもしれませんが、得意な人も苦手な人もいます。とはいえ、造形活動はゼロから私たちのイメージを形にしていく活動であり、想像したイメージが形になる活動でもある魅力的な活動です。だからこそ、将来、幼稚園教諭や保育士を目指す私たちは、美術館見学や日ごろの造形の授業で得た様々な経験をもとに、楽しみながらものをつくったり、もので遊んだりすることを通して、物語を伝えようと考えました。



副題の「にじいろのシマウマ」は、アンパンマンで有名なやなせたかしさんがつくった絵本「にじいろのしまうま」を底本としてつくった脚本の題名です。主人公となる虹色をもつシマウマが、色のなくなった世界に自身の彩を与えることで世界に彩が豊かになるとともに、そこに様々な遊びが生まれる様子を伝えます。

シマウマの変化と共に、様々な造形物が登場する様子やその時に流れる曲、それに合わせた遊びが展開される様子は必見です。鑑賞する皆さんも、今日帰ってから、何かものづくりをしたくなること間違いなしです。



【場面編成及び表現担当者】

○ 雨の場面

〈1年〉

- ・大久保愛美
- ・南 柚希
- ・樋口亜美
- ・江頭芹奈
- ・森川有希
- ・横江咲輝

〈2年〉

- ・境 拓磨
- ・野田晃平
- ・甲斐田仁奈
- ・松尾美咲

Piano：黒田日奈子

○ 森の場面

〈1年〉

- ・河口 凌
- ・諸藤朱音
- ・山口蒔乃
- ・橋本 涼
- ・三小田彩花
- ・中川皓紀

〈2年〉

- ・阿部遥奈
- ・花島真優
- ・山下悟弥
- ・堀下有沙

Piano：末次美咲

○ 花の場面

〈1年〉

- ・末松美咲
- ・國武志保
- ・西原杏奈
- ・福山里穂

〈2年〉

- ・鳥取千尋
- ・築城亜美
- ・馬場賢一
- ・山浦翔子

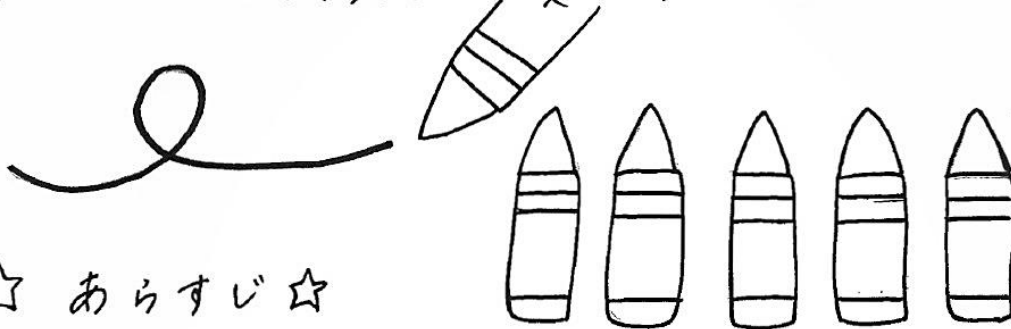
Piano：成清桃子

Narration：日野ゆりか

「くろんくとなぞのおばけ」

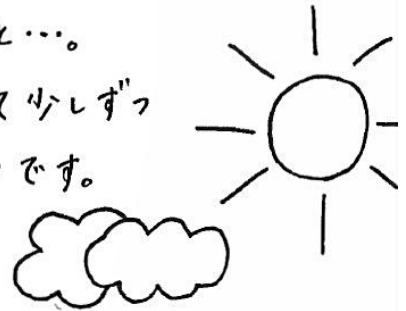
九州大谷短期大学幼児教育学科 I クラス

今回、Iクラスでは、『くろくとなぞのおばけ』という絵本を題材とし、劇遊びに挑戦しました。劇のなかに遊びを取り入れ、アレンジを加えながら楽しい物語に仕上げました。クレヨンそれぞれの個性を生かしました。おじいさんとお別れのシーンでは、命の尊さを感じると共に、子どもたちに分かりやすく温かく、優しいイメージで表現しています。



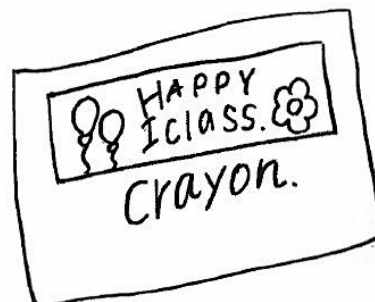
☆ あらすじ ☆

次々とクレヨンたちが連れ去られ、皆で一日中探しますが見つかりません。黒くん1人だけ取り残され救世主と共に仲間を探し出します。泥の付いた足跡を見つけ、その足跡をたどっていくと…。最初は弱気な黒くんですが、冒険をすることによって少しずつ強く、たくましく成長していく黒くんの姿も見所の1つです。



☆ 登場人物 ☆

- ・くろくん ・あかさん ・おれんじさん きいろさん
- ・きみどりさん ・みどりさん ・みずいろさん ・あおさん ・ピンクさん
- ・救世主 ・ねずみ親子



「Over The Rainbow」

九州大谷短期大学幼児教育学科 Fクラス

【内容】

天気（空模様）を題材に、運動あそびやリズムあそび、創作ダンスなどを取り入れ、言葉は用いずに身近な小物と身体だけを使った表現活動を行います。

【構成】

「空模様」の移り変わりを「晴れ」、「曇りから雷」、「雨」、そして「虹」へ。

「空模様」の様子を表現すると同時に、人の「心模様」の移り変わりも表現します。

【本発表のメッセージ】

無邪気に遊び回る子どもたち。なぜ遊んでいるのだろう？

きっと、理由なんてものではなく、やらされているわけでもなく、

どれが正解でどれが間違いなんてものもなく、本能のままにやりたいことを楽しんでいる。

だから、子どもたちと一緒に遊べる元気さを持ち、トコトンやりたい遊びに付き合い、一緒に遊びそのものを楽しみ、お互いに笑顔になることが大事！

子どもと共に感性や感情を豊かにし、さらに引き伸ばしていける人（保育者）を目指そう！

そして遊びを通じて、努力することや人と人との出会い、つながりも感じていこう！

大人になるにつれて忘れかけている子ども心を思い出し、自分のやりたいことを見つけて、ワクワクドキドキな世界（日常）を過ごしていこう！

エンディングに選んだ曲は、ゆずの「虹」です。

良い日もあれば悪い日もある。でもそれが当たり前。

楽しいことばかりではなく、時には痛みや苦しみを抱えることもあるけれども、

その先は自分次第。勇気を出して、夢と希望を持って、虹を描こう（前に進もう）。

遠回りしても、つまずいても、

きっと虹の彼方には、

素晴らしい明日が待っているから。

ご自身の感情とも重ね合わせながらご覧いただき、笑顔になっていただけると幸いです。

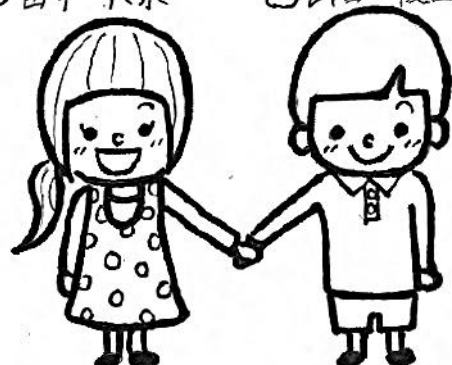
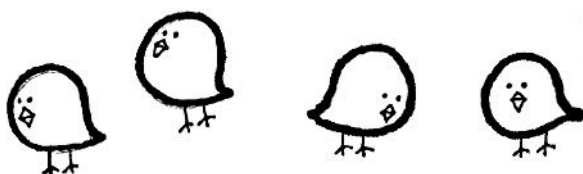
൧..൪..൪..൧..൪..൪..൧..൪..൪..൧..൪..൪..൧..൪..൪..൧

$\langle \tilde{\chi}_2 - \text{トスト} - \text{ソ} - \rangle$

👑 寺田(大人)	寺田 永遠
👑 みゆき(子ども)	安元 美由希
👑 お母さん	堺 裕香
👑 ビアノの矢王	北崎 葵紗
👑 プロローグ(語り)	藤本 晴奈

〈1年生～子ども役・道具係〉

赤星	友梨	浅野	愛望
荒木	沙耶	坂田	杏佳
稚葉	友梨南	立山	鈴海
田中	玲奈	山田	優里



「3びきのやぎのがらがらどん」

九州大谷短期大学幼児教育学科 Hクラス

今回Hクラスでは、『3びきのやぎのがらがらどん』という絵本を使って、発表を行います。

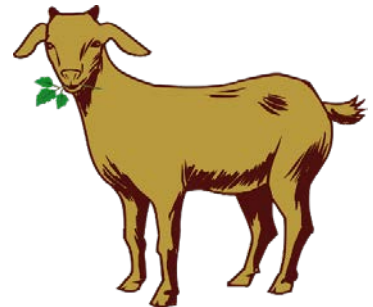
そして子どもたちが想像しやすいように登場人物に楽器をつけ、人形劇や音楽を通して表現します。

＜あらすじ＞

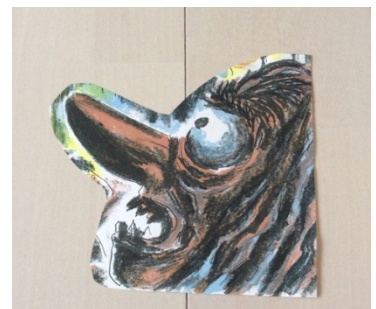
3びきのやぎ、名前はどれも『がらがらどん』と言いました。山へ草を食べに行く途中、谷川が流れているのでそこにかかっている橋を渡らなければなりませんでした。

しかし、橋の下には岩の怪物『トロル』が住んでいました。

やぎが橋を渡ろうとすると「ひとのみにしてやろう」と襲い掛かりますが…

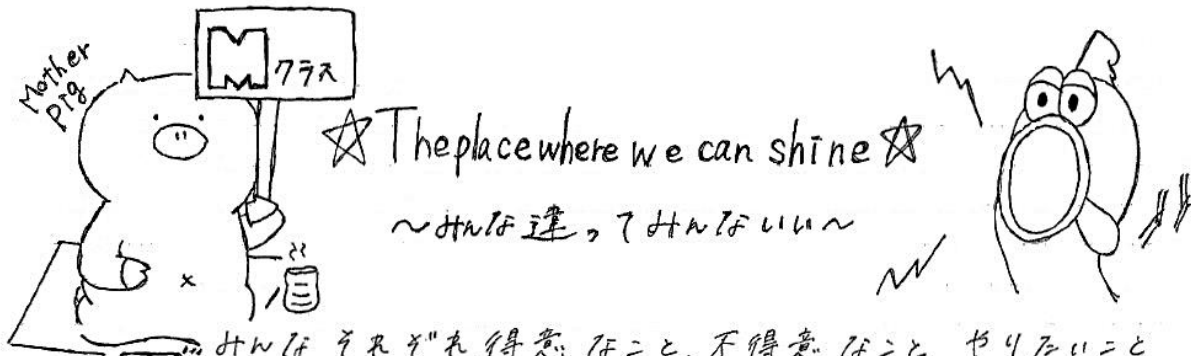


人形劇に出てくる登場人物の動きや場面に合わせた演奏をお楽しみください。



「★The place where we can shine★」

九州大谷短期大学幼児教育学科 Mクラス



みんなそれぞれ得意なこと、不得意なこと、やりたいことは違っているのだから「劇」や「音楽演奏」など、何か一つの活動をする時、やりたくないこと、不得意なことをしなければいけない人が出てきて、さつくなったり、やる気がなくなったりすることもあります。

それぞれやりたいことでも違っているけど、違いを生かして楽しめたら一つのことに取り組めるということを示したいと思い、

造形(道具製作)、身体(ダンス)、音楽(音響)

を全て組み合わせた劇を考えました。

主役だけでなく舞台に立たない人も輝けるような表現を目指します。

ぜひ、みなさんも物語の中に入り、一緒に楽しんでください。

<あらすじ>

一人の保育士が遊び会で「3匹のニボタ」の劇をすることになる。調べてみると身になる動画が...

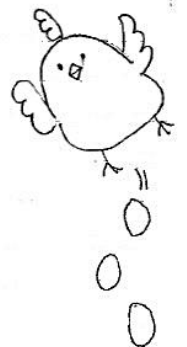
家を追い出されたリブ、ハム、トロの3匹のニボタ達。

それぞれ家を建て直すけど、そこに忍び寄るオオヤミの影...

なぜ家ば壊れてしまったの？

3匹のニボタ達は どうオオヤミに立ち向かうの？

家を壊れる仕掛けや、SNS投稿に使うプロジェクター画像、ピアノの生演奏にもぜひご注目ください!!



「みんなの輝き繋げていこう～人生無限大～」

九州大谷短期大学専攻科福祉専攻 STクラス

私たち専攻科は、「みんなの輝き繋げていこう～人生無限大～」というテーマのもと車イスダンスと手話表現をお届けします。



【車イスダンス】

高齢者（Sクラス）、障がい者（Tクラス）に対する支援を題材にした、誰もが楽しめる車イスダンスを行います。それぞれのダンスの違いなどをお楽しみください。

●目的

- ・車イスでこんなことが出来るのかという、気づきのきっかけになって欲しい。
- ・レクリエーションとしてダンスを取り入れることで自分の新しく出来ること、楽しいことを知り、自己肯定感を強め生活の質を高めて社会参加に繋がりたい。
- ・子どもとの交流（高齢者が）から生きがいを見つけて欲しい。

（曲）Sクラス：「パプリカ」/米津玄師

Tクラス：「ATHER DAY OF SUN」/映画LALALANDより

【手話表現】

「僕が君の耳になる」という曲の歌詞を、手話表現で行います。歌やダンスとはまた違った表現方法をお楽しみください。

●目的

- ・歌、ダンスそして「手話」という、新しい表現方法を知って欲しい。
- ・老若男女問わず、全ての人に楽しんでもらいたい。
- ・授業で手話を学び、実際に自分達も手話で耳の聞こえない人にも楽しんでもらえるものを表現したい。



（曲）「僕が君の耳になる」/HANDSIGN

